

きのくに青雲高等学校定時制

| | |
|------|---------------------|
| 実施日時 | 令3年 9月29日(水) |
| 参加者 | 生徒150名、教職員40名、計190名 |
| 実施内容 | 避難訓練、防災スクール |

ねらい

- 1 近い将来、発生が危惧される南海トラフ地震をはじめ、自然災害に備える防災意識を高め、スムーズに行動できるよう、避難経路や避難行動を確認する。
- 2 地域防災の担い手として社会貢献できる生徒の育成を目的とする。

主なプログラム

- 1 避難訓練。
- 2 「和歌山県防災ナビ」「世界津波の日リーフレット」等を使った防災教育。

概要

- 1 地震発生、火災発生による避難を想定した訓練。
- 2 「和歌山県防災ナビ」「世界津波の日リーフレット」等を使って学習した。

参加者感想文

- 地震が起こったときの避難経路が確認できた。
- 津波の怖さがわかった。

成果と課題

【成果】

- ① 避難訓練や「和歌山県防災ナビ」「世界津波の日リーフレット」等を使った防災教育をすることによって、過去に起きた地震災害・津波の様子を学ぶことができた。また、今後の自然災害対策として大いに役立った。
- ② 校内避難経路の確認をすることができた。

【課題】

- ① 訓練ということもあり生徒の中には緊迫感のない生徒もいた。実際に地震が起こった時の行動についてより緊張感を持った取り組みが必要と感じた。
- ② 障害を持つ生徒等への対応等に、人員の少なさを感じた。
- ③ コロナ禍での訓練・実習をどのようにするか考える必要性を感じた。